



公共交通空白地域解消支援事業



【H30当初予算額 30,000千円】

政策企画部交通局交通政策課地域交通G (029-301-2604)

バスやタクシーの利用が困難な公共交通空白地域において、市町村が行う、地域住民やNPO等による自家用有償旅客運送の導入やスクールバス等の活用への支援に加え、新たにコミュニティ交通の導入を支援し、公共交通空白地域の解消を図ります。

1 補助対象事業

① 自家用有償旅客運送導入支援

- 〈対象経費〉
- ・初期費用（車両取得費，運転者認定講習費等）
 - ・事業の実施に必要な調査・検討費
 - ・運行経費（人件費，燃料費等）

② スクールバス，企業バス等活用支援

- 〈対象経費〉
- ・初期費用（停留所設置）
 - ・乗合バス転用のための車両の簡易な修繕改修費用
 - ・事業の実施に必要な調査・検討費
 - ・運行経費（人件費，燃料費，委託料等）

③ コミュニティ交通導入支援（コミュニティバス，デマンドタクシー）【新規】

- 〈対象経費〉
- ・初期費用（停留所設置，車両取得費，予約・配車システム構築費等）
 - ・事業の実施に必要な調査・検討費
 - ・運行経費（人件費，通信費，燃料費，委託料等）



〈導入例〉常陸太田市（高倉地域づくりの会）

2 補助率

1/2（上限500万円，最大3年間）



国民体育大会・障害者スポーツ大会警備対策事業（新規）



【H30当初予算額 72,963千円】

警察本部（029-301-0110）生活安全総務課（内線3011）

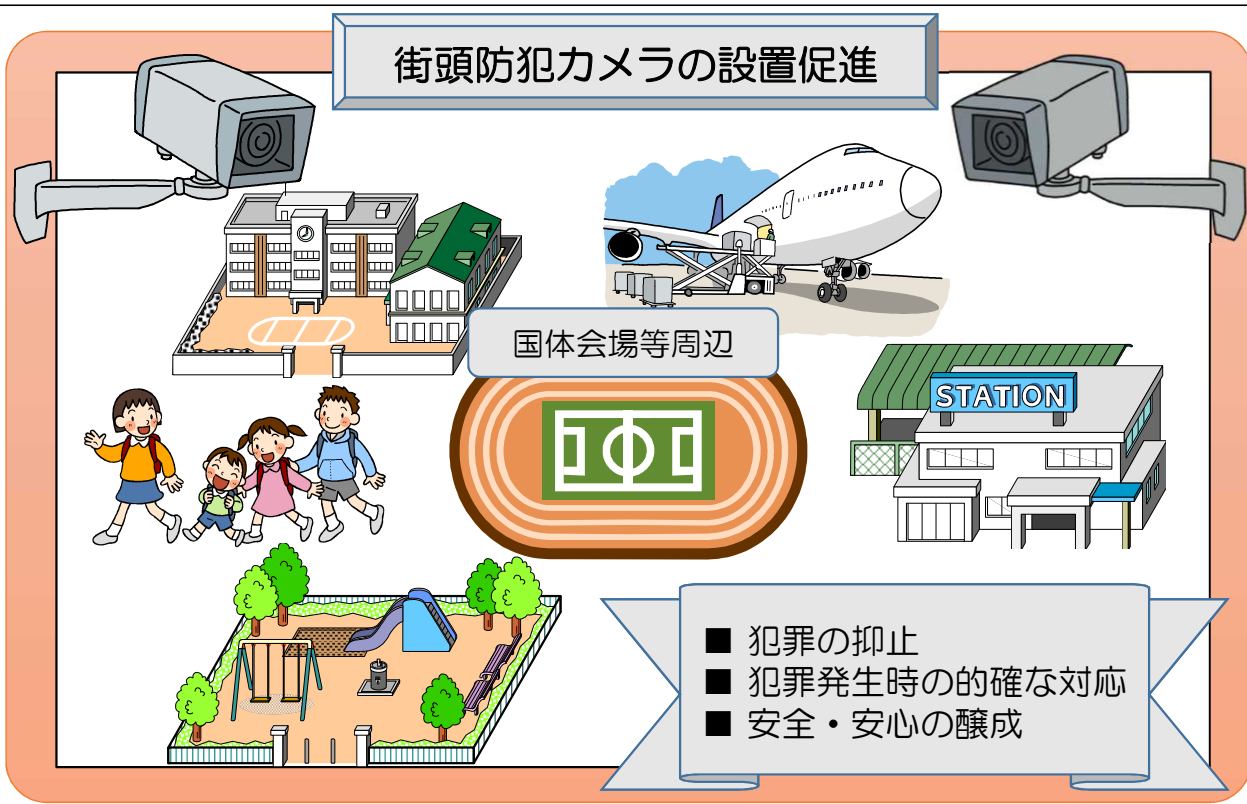
茨城国体等の開催に向けて、市町村が行う犯罪の抑止や犯罪発生時の的確な対応に有効な街頭防犯カメラの設置を支援します。

1 街頭防犯カメラ設置補助制度 (59,400千円)

- ・補助先：市町村
- ・補助率：1/2
(上限20万円/台)
- ・補助数：297か所

市町村が国体会場等周辺の公共空間に街頭防犯カメラを設置する際の設置費用の一部を補助し、街頭防犯カメラの設置を促進

2 警備対策経費 (13,563千円) レンタカー、資機材等





防災情報提供・配信事業（新規）

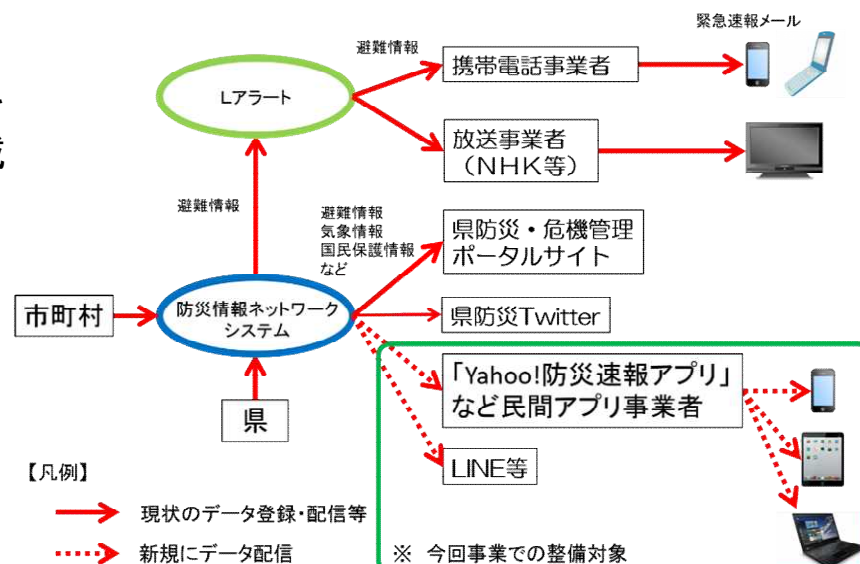


【H30当初予算額 83,459千円】

防災・危機管理部防災・危機管理課防災G（029-301-2885）

NTTタウンページとの連携により、防災ブックを作成し、全世帯に配布するとともに、県の災害情報を利用者の多いアプリを介して配信できるようシステムを整備します。

- 1 防災ブックの作成・配布（9,824千円）
 - ・サイズ等：B5判，24頁程度
 - ・発行部数：約124万部
 - ・原稿内容：防災啓発情報及び県内の各市町村（県内を15エリアに区分）の避難所マップ等を掲載
 - ・配送方法：タウンページと同梱し，全世帯にポストイン（固定電話のない世帯にも配送）
 - ・発行時期：平成31年3月（予定）
- 2 アプリを活用した災害関連情報の提供（73,635千円）
 - ・概要：市町村から県民や県内旅行者等に「Yahoo!防災速報アプリ」や「LINE」，「Facebook」等を介して，災害関連情報を直接提供できるよう，システムを整備



アプリを活用した災害関連情報の提供イメージ図



次世代グローバルリーダー育成事業（新規）

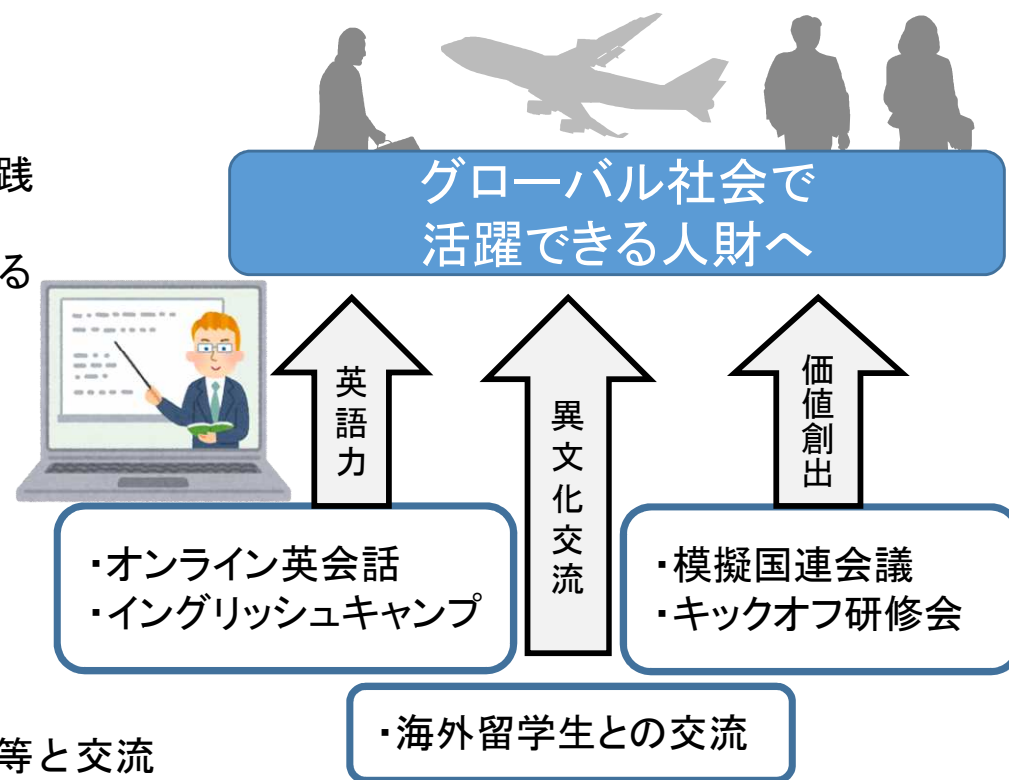


【H30当初予算額 29,901千円】

教育庁学校教育部義務教育課指導G（029-301-5226）

グローバル社会で活躍できる人財を育成するため、英語の学習意欲・能力の高い中高生を対象に、インターネットを活用したトップレベルの学習やイングリッシュキャンプ等への参加プログラムを提供します。

- 1 対象
県内の中学生・高校生 計40名
- 2 内容
英語をはじめとする人財育成プログラムの実践
 - (1) オンラインでの英会話学習
日常会話からビジネス英会話まで、希望する時間にトップレベルの学習環境を提供
 - (2) キックオフ研修会
世界の第一線で活躍する人材との交流
 - (3) イングリッシュキャンプの実施
英語のみの集団生活を通じ、国際交流と英語コミュニケーションを実体験
 - (4) 模擬国連会議
国際的課題の討論会で新たな価値感を創造
 - (5) 海外留学生との交流
大学講義体験やSNSを通じ、海外留学生等と交流





プログラミング・エキスパート育成事業（新規）



【H30当初予算額 46,792千円】

教育庁学校教育部高校教育課指導G（029-301-5260）

インターネットを活用して、全国トップレベルのプログラミング能力を持つ中高生を育成するとともに、多くの学生がプログラミングに興味を持つような学習サービスを提供します。

1 プログラミングに高い意欲・能力を有する中高生を支援
（プログラミングで未来を創造する人材（エキスパート）を育成）

①オンライン学習（現役プログラマー等による個別指導）

対象：県内の中学生・高校生 40名

内容：・参加者個々の企画・目的に合わせた指導
・SNSで同じ志を持つ仲間とコミュニティを構築

選考：プログラミング・ワークショップ（160名から選考）
（※スマートフォンアプリの作成等を実践）

②刺激的な体験の提供

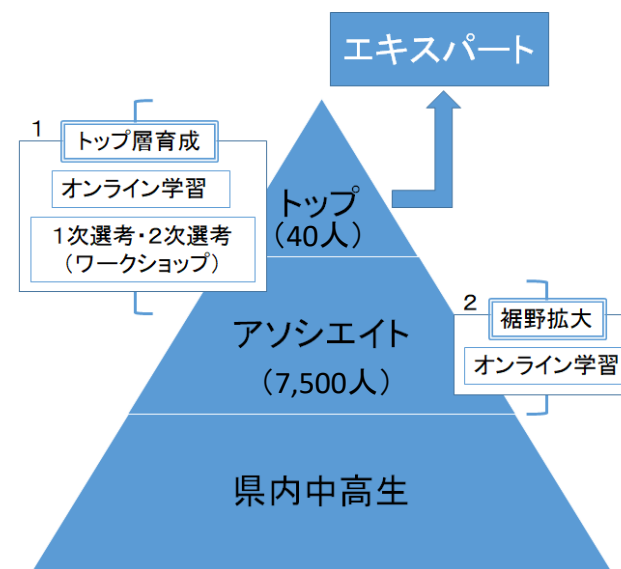
優秀なクリエイターとの交流，IT起業研修等の参加

2 プログラミングに興味がある高校生を支援（すそ野の拡大）

対象：県内高校生 7,500名

内容：基礎的なプログラミングスキルを学習
（※民間のオンライン学習サービスを、

開始から3ヶ月間無料で提供）



※トップ
プログラミングに高い意欲・能力を有する者
※アソシエイト
プログラミングに興味を有する者



小学校プログラミング教育推進事業（新規）



【H30当初予算額 7,061千円】

教育庁学校教育部義務教育課指導G（029-301-5226）

新しい小学校学習指導要領に対応するとともに、児童のプログラミングへの興味・関心を高め、プログラミング的思考を育成するため、民間企業等を活用し、授業づくりや教材の開発等に取り組みます。

民間企業等を活用した指導方法の研究

【各教科等におけるプログラミング的思考の育成】

- ・内容：モデル校における授業づくり，授業実践，公開授業の実施 等
- ・対象校：重点校（民間企業のサポート）：2校
協力校（大学教授等のサポート）：3校

（※プログラミング的思考・・・コンピューター等に意図した処理を行わせるために必要な論理的思考力）

映像教材の制作・ネット配信

【コンピュータを活用したプログラミング体験】

- ・内容：実践的なプログラミング体験のオンライン映像教材を制作し、「総合的な学習の時間」で活用
- ・対象：小学5年生
- ・効果：専門家による実践的なプログラミング授業

全小学校への普及
プログラミング教育の実践

- ・全公立小学校の教員向け研修会，市町村教育委員会向け研修会等





少人数教育充実プラン推進事業（中3拡充分）



【H30当初予算額 191,160千円(拡充分)】

教育庁学校教育部義務教育課管理G (029-301-5215)

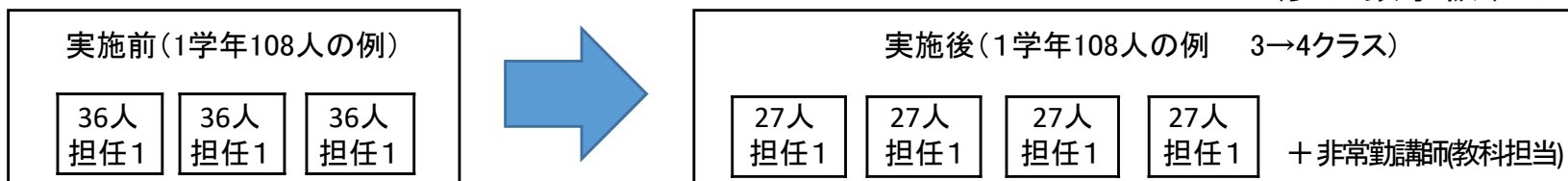
本県独自の少人数教育を中学校3年生に拡充し、県内すべての公立小中学校等で、「わかりやすく楽しい授業づくり」や「児童生徒に寄り添ったきめ細かな指導」の充実を図ります。

○拡充対象学年：中学3年生

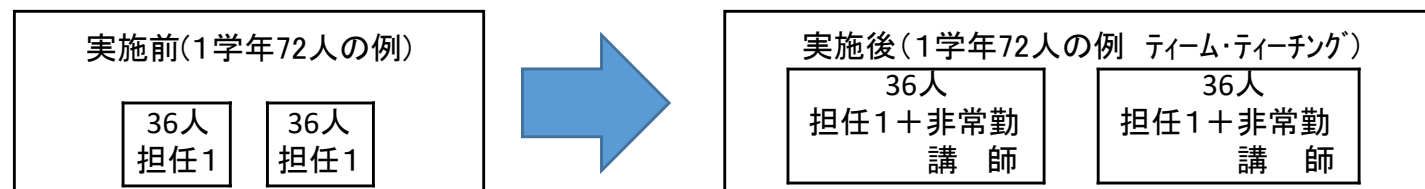
○目的：学力の向上及び生徒指導におけるきめ細かな対応（いじめ等の問題行動や不登校など）

○事業スキーム

(1) 35人超学級が1学年に3学級以上：1学級増設，担任教諭1名及び非常勤講師1名を配置
(少人数学級(30人程度学級))



(2) 35人超学級が1学年に1・2学級以下：学級毎に非常勤講師1名を配置(複数教員によるチーム・ティーチング)





生徒指導実践サポート事業



【H30当初予算額 3,222千円】

教育庁学校教育部高校教育課指導G (029-301-5265)

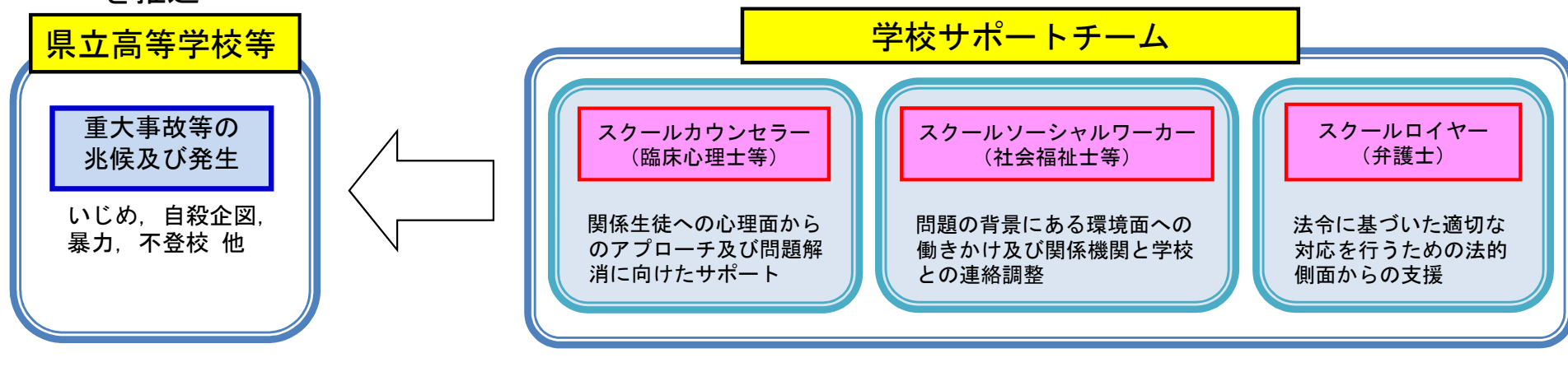
いじめ等の問題対応のために、外部専門家によるサポートチームを高等学校等に派遣して相談・支援にあたることで、問題の早期解消に努めます。

1 学校サポートチームの派遣

- ・学校からの要請に応じて、いじめ等の解決のために必要な専門家（スクールカウンセラー，スクールソーシャルワーカー，スクールロイヤー）をチームとして原則4回（1回あたり2時間）派遣

2 専門家によるいじめ防止研修会等の開催（年10回）

- ・高等学校の教職員等を対象に、弁護士等の専門家による研修会等を開催し、いじめの未然防止を推進





私立高等学校等授業料減免事業



【H30当初予算額 475,781千円】

総務部総務課私学振興室 (029-301-2249)

保健福祉部子ども政策局子ども未来課幼稚園G (029-301-3243)

経済的理由により授業料等の納入が困難な生徒の教育機会の確保を図るため、私立高等学校等の授業料無償化の範囲を年収400万円程度未満の世帯まで拡大し、授業料等の減免を実施する私立学校に対して補助を行います。

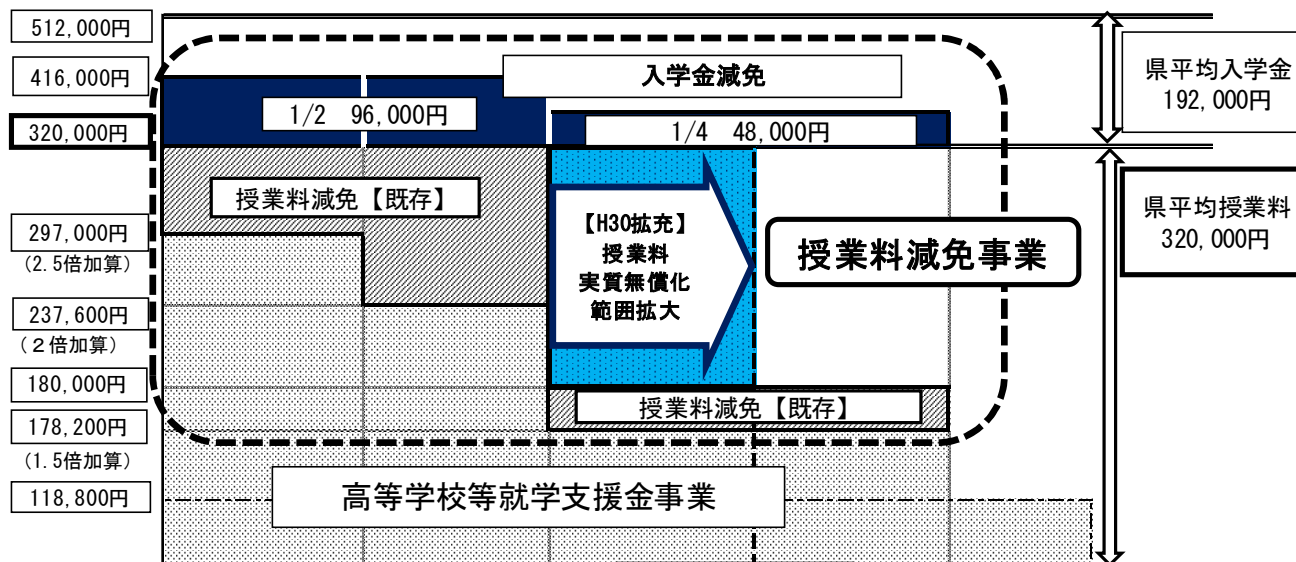
【事業概要（私立高等学校等生徒への支援のイメージ）】

○年収(目安)に応じた授業料等の減免内容

(授業料減免額は就学支援金との合算)

(単位：円)

世帯年収の目安	授業料	入学金
250万円未満	320,000	96,000
250～350万円未満	320,000	96,000
350～400万円未満	320,000 (180,000円から拡充)	48,000
400～590万円未満	180,000	48,000
590～910万円未満	118,800	-



(※年収の目安) 年収250万円程度 年収350万円程度 年収400万円程度 年収590万円程度 年収910万円程度

※年収は、保護者のうちどちらか一方が働き、高校生1人、中学生1人の4人世帯の目安



地域少子化対策重点推進事業



【H30当初予算額 152,562千円】

保健福祉部子ども政策局少子化対策課企画・結婚支援G (029-301-3261)

少子化対策の推進のため、いばらき新婚夫婦等優待制度の創設等により、結婚・子育てに関する機運の醸成や結婚相談体制の強化に取り組みます。

1 結婚・子育てに関する機運の醸成 (19,829千円)

NEW!!

①いばらき新婚夫婦等優待制度の創設【新規】

新婚夫婦や結婚予定カップルを対象とした優待カードにより協賛店舗で料金割引等（婚礼費用の割引等）が受けられる制度を実施し、結婚に対する機運を醸成

②ライフデザインの形成支援【拡充】

高校生や大学生等を対象としたライフデザインセミナー（赤ちゃんふれあい体験等）の開催 ※H29：9校→H30：16校



2 結婚相談体制の強化 (12,733千円)

①いばらき出会いサポートセンターの相談体制の強化【拡充】

相談窓口の拡充（市町村施設内での出張相談を実施）、企業訪問、イベント出張相談、婚活イベント開催支援

②結婚支援者スキルアップセミナーの開催

マリッジサポーター等を対象としたスキルアップセミナーの開催



3 地域少子化対策重点推進交付金を活用する市町村事業の補助 (120,000千円)

対象事業：結婚新生活の支援（新居の家賃、引越費用等の補助）、結婚・子育てに関する機運の醸成 等



いばらき保育人材バンク設置運営事業（新規）



【H30当初予算額 44,768千円】

保健福祉部子ども政策局子ども未来課保育G（029-301-3252）

待機児童の解消のため、いばらき保育人材バンクを創設するとともに、いばらき保育人材バンクを利用した際の紹介斡旋に係る手数料を軽減し、保育士確保対策を推進します。

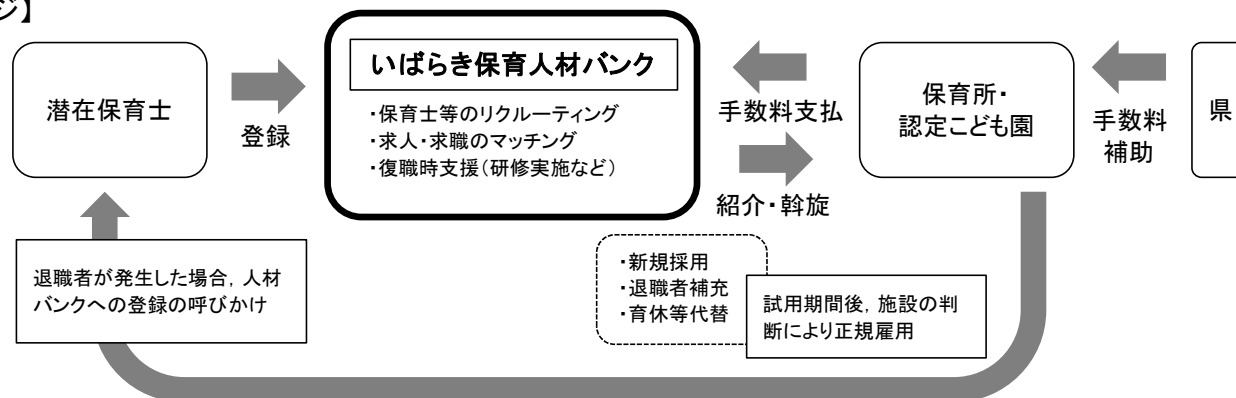
1 いばらき保育人材バンクの委託（36,830千円）

- （1）潜在保育士の就職斡旋や復職支援のための研修の実施
- （2）新規雇用者の試用期間（1か月）の人件費支払，紹介手数料の軽減，フォローアップ等の実施

2 紹介手数料の補助（7,938千円）

いばらき保育人材バンクで雇用した場合，各施設の平均勤続年数に応じて手数料を補助することで，保育士の勤務環境改善を誘導し，保育士の定着を促進

【事業イメージ】





家庭的保育事業促進事業（新規）



【H30当初予算額 12,270千円】

保健福祉部子ども政策局子ども未来課保育G（029-301-3252）

家庭的保育事業（保育ママ）の増加，質の向上等を図るため，コーディネーターの配置による経営的不安の解消，事務処理支援等を行います。

1 目的

- 大規模な施設整備を伴わない保育の受け皿確保
- 参入の少ない家庭的保育（保育ママ）を促進
- これまで課題とされた代替保育などを解消

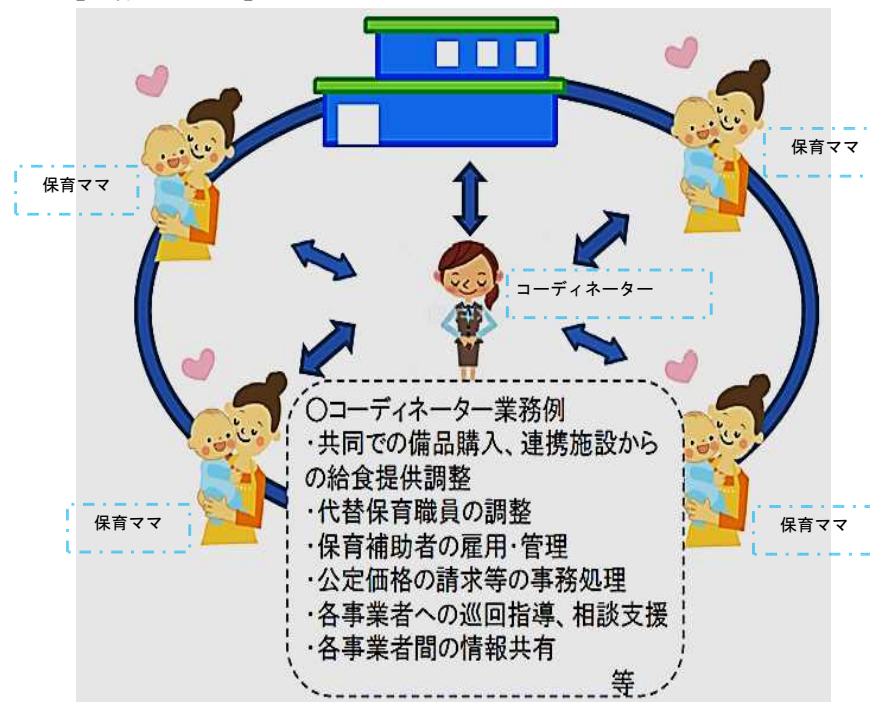
2 内容

- コーディネーターを配置する費用の補助
 - ・実施主体：市町村（H30は県内2地区でモデル的に実施）
 - ・補助基準額：818万円
 - ・補助率：（国1/2，県1/4），市町村1/4

3 効果

- 不安・課題の払しょく
 - ・利用者の確保，自園調理
 - ・病気などによる休暇取得時の代替保育確保
 - ・公定価格の請求，自治体への報告書作成などの事務作業
- 質の向上
 - ・保育に専念することのできる環境の整備による保育ママの普及・質の向上

【全体イメージ】





県営体育施設再編整備事業



【H30当初予算額 1,750,757千円】

教育庁学校教育部保健体育課管理G (029-301-5344)

平成31年に本県で開催する第74回国民体育大会に向けて、開・閉会式又は各競技会場となる県営体育施設等について、必要な整備等を実施します。

1 事業目的

- (1) 国体競技基準への適合
- (2) 老朽施設の改修, 再整備

2 事業内容

○笠松運動公園, 堀原運動公園, ライフル射撃場の改修等

- ・ 防犯カメラ整備, トイレ改修 (笠松)
- ・ 陸上, 水泳競技用備品整備 (笠松)
- ・ 弓道場遠的射場防矢ネット整備 (堀原)
- ・ 射場空調整備 (ライフル)
- ・ 体育協会会館の在り方検討

など

○水戸市が整備する東町運動公園への県負担

3 整備等対象施設で開催される国体競技

施設	開催競技等
笠松運動公園	
陸上競技場	開・閉会式, 陸上競技
屋内水泳プール	水泳(競泳・飛込・シンクロ)
堀原運動公園	
武道館	弓道
ライフル射撃場	
10m射場	エア・ライフル, エア・ピストル
50m射場	スモールボア・ライフル
東町運動公園	
体育館	レスリング, フェンシング





元気いばらき選手育成強化事業



【H30当初予算額 617,970千円】

教育庁学校教育部保健体育課国体競技力向上対策室（029-301-5357）

平成31年に本県で開催する第74回国民体育大会に向けて、計画的に選手強化に取り組み、本県選手の競技力向上を図ります。

○事業概要

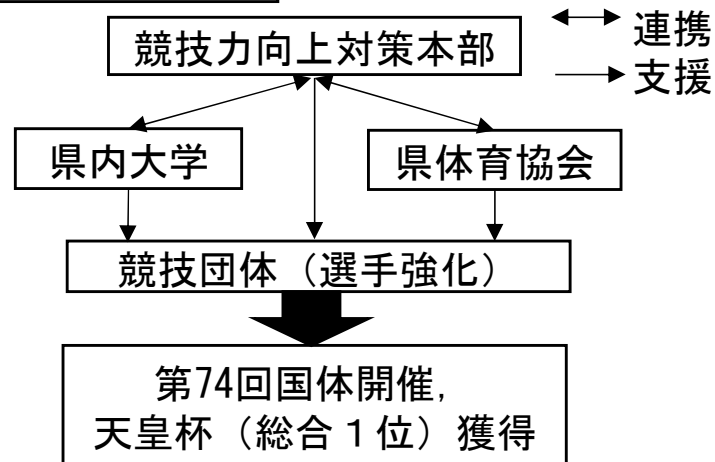
- (1) 強化指定制度
 - ・茨城国体出場予定選手等を指定し、集中して強化
- (2) 社会人選手雇用推進プロジェクト
 - ・優秀な選手の民間企業、市町村等への雇用促進
 - ・競技力向上対策本部における成年選手の雇用（スポーツ専門員62人）
- (3) スーパーアドバイザー招へい
 - ・全国トップレベルのコーチを招へいし、試合時の戦術、判定ポイントを的確に押さえた強化を実施



年次計画

年度	H24~27	H28~30	H31
計画	発掘・育成	強化	開催

事業スキーム





第74回国民体育大会推進事業



【H30当初予算額 753,598千円】

国体・障害者スポーツ大会局総務企画課総務G (029-301-5394)

茨城国体の成功に向けて、競技会場や用具の整備、宿泊施設の確保、来県者を温かく迎える花いっぱい運動、市町村が実施する競技のリハーサル大会運営の支援などの開催準備を進めます。

1 大会概要

- ・開催期間：平成31年9月28日～10月8日（11日間）
- ・正式競技：37競技（陸上競技，水泳，サッカー，テニスほか）
- ・参加者数：70～90万人（選手団，大会関係者，観覧者等）

2 実施内容



【本大会の開催準備等】（372,874千円）

- ①炬火台等の開閉会式会場整備や式典演技制作，式典練習会の実施，警備計画の作成
- ②馬術障害やハンマー投げ囲い等，競技用具の購入
- ③2万3千人以上となる各県選手団等の配宿やバス輸送，医療の計画作成
- ④広報紙，ボランティア募集，花いっぱい運動の実施
- ⑤市町村が実施する国体後の競技定着・スポーツ振興を図るモデル事業に対する支援 など

【リハーサル大会運営の支援】（380,724千円）

○市町村が実施する競技別リハーサル大会の運営費の補助

≪リハーサル大会概要≫

- ・開催期間：平成30年5月～31年7月
- ・開催競技：38競技（正式競技＋高校野球）
- ・参加者数：4万1千人（選手，役員等）



第19回全国障害者スポーツ大会推進事業



【H30当初予算額 136,712千円】

国体・障害者スポーツ大会局障害者スポーツ大会課大会競技G (029-301-5396)

平成31年に本県で開催する全国障害者スポーツ大会において、選手等が安心して大会に参加できるよう、競技会場等のバリアフリー対策や宿泊施設の確保対策、選手等を支援するボランティア養成などの開催準備を進めます。

1 大会概要

- ・開催期間：平成31年10月12日～14日（3日間）
- ・正式競技：13競技（陸上競技，水泳，車椅子バスケットボール等）
- ・参加者数：約9万人（選手団，大会関係者，観覧者等）

2 実施内容

①式典・競技会場整備

- ・開閉会式の式典実施要項の策定，会場のバリアフリー対策等の実施設計

②競技運営

- ・審判員等の養成や先催県調査研究に要する経費の一部を競技団体へ補助
- ・競技のプログラム編成などを行う「競技運営支援システム」の構築

③宿泊・輸送

- ・障害者に配慮した宿泊施設の確保や，安全かつ円滑な輸送体制の整備

④ボランティア養成

- ・情報支援（手話通訳，要約筆記），選手団サポート（選手の介助，誘導等），大会運営（受付，案内，環境美化等）の各ボランティアの確保や養成講座の実施





いばらきインターネットテレビ事業



【H30当初予算額 121,271千円】

営業戦略部プロモーション戦略チーム制作・発信G (029-301-2129)

若年層をターゲットに、国内外に向けた観光誘客に特化した魅力ある動画を制作・配信することにより、「世界における茨城のファン」作りを行います。

重点化

○海外向け情報発信の大幅強化

- ・茨城を知り、興味を持ってもらうきっかけ作りのための著名な動画制作者の活用
- ・影響力のあるインフルエンサー(ブロガーなど)を活用した海外での拡散
- ・主要ポータルサイトや旅行専門ネットメディア等へのコンテンツ記事出稿による露出拡大

○若年層に届く動画制作

- ・ライブ配信機能の活用
- ・若年層に影響力を有するYouTuberの起用
- ・点から線への動画制作(「観光地単体」→「周遊コース」)



○県内情報をタイムリーに発信

- ・高校スポーツ公式戦
- ・県内ニュース番組
- ・県議会常任委員会活動など



海外



国内



県内





いばらきアンテナショップ運営事業



【H30当初予算額 281,696千円】

営業戦略部プロモーション戦略チームプロモーションG (029-301-2129)

現店舗を全面リニューアルし、内装や商品ラインナップを高付加価値化することにより、新たなコンセプトで厳選された茨城の逸品を世界に誇れる「茨城ブランド」として国内外へ発信します。

1 リニューアルイメージ

- ・コンセプト：茨城の厳選された逸品を世界へ
- ・場所：東京都中央区銀座1丁目2-2（現在地）

＜新店舗の特徴＞

①物販

- ・厳選された逸品及び茨城のブランド商品の販売

②飲食

- ・茨城のブランド食材を使った料理の提供

③情報発信

- ・専任スタッフによる茨城の「食」の魅力・観光情報やブランド力の向上

④イベント・商談会

- ・ブランド食材や本県のイメージアップのためのPRイベント
- ・販路拡大のための商談会等の開催等



2 スケジュール

H30年4月	5月	6月	7月	8月	9月末予定
事業者の選定	改修工事等				新店舗開店



宿泊施設立地促進事業（新規）



【H30当初予算額 1,014,000千円】

営業戦略部観光物産課観光戦略G（029-301-3617）

（H29最終補正 企業立地促進基金積立金（宿泊施設立地促進補助分）10億円）

増加する観光宿泊需要を県内に取り込み、観光消費額の増加などを図るため、新たに県のフラッグシップとなり、観光イメージの向上に資するホテル等の誘致に取り組みます。

1 ホテル等の誘致のための調査等
ホテル等の需要動向や地域活性化検討のための調査及び誘致活動の推進

2 ホテル等の立地に対する支援
県のフラッグシップとなり、観光イメージの向上に資するホテル等の立地に対する補助

◆補助内容：投資額（土地・建物・設備）の5％，上限5億円
（県の観光イメージの向上に特に資すると認められる場合は「投資額の10％，上限10億円」まで増額）



※客室数・平均客室面積・価格等を総合的に勘案し、外部有識者による審査会の意見を踏まえ決定



DMO観光地域づくり推進事業



【H30当初予算額 160,783千円】

営業戦略部観光物産課 (029-301-3617)

地域全体が観光により稼ぐことができる仕組みを構築するため、「DMO形成・確立に向けた人材の育成・確保・活用」、「魅力ある観光地域づくり」、「本県の特長（強み）を活かした国内誘客促進」、「稼げる観光産業の振興」及び「筑波山・霞ヶ浦広域エリア観光連携促進」に取り組めます。

1 DMO形成・確立に向けた人材の育成・確保・活用

- (1) 観光地域づくりの中核人材の育成・確保
市町村、事業者等を対象としたセミナーの開催
- (2) 観光マイスターの活用【拡充】
観光マイスターS級のセミナー等講師派遣等
- (3) 県域DMOの機能強化
専門人材等の確保に係る費用の支援



3 本県の特長(強み)を活かした国内誘客促進

- (1) 若者目線を活用した観光資源の発掘
- (2) 体験型アクティビティの情報発信強化【拡充】
観光サイトにおける体験型観光資源の紹介等
- (3) 宿泊観光促進に向けた新コンテンツ創出及び新客層開拓【新規】
宿泊型モデルルート策定、朝・夜型観光資源磨き上げ等



2 魅力ある観光地域づくり

- (1) 農村体験の利用及び農家民宿開業等の推進
- (2) 宿泊施設の魅力向上【新規】
宿泊施設の魅力向上に向けた専門家コンサルティング実施
- (3) 歴史的観光資源の発掘活用【新規】
「明治150年」記念講演、観光ガイド向研修等の開催等
- (4) 魅力映画作品の支援【新規】
本県を舞台又は題材とした映画作品の撮影諸経費の支援



4 稼げる観光産業の振興

- (1) 金融機関等と連携した北関東三県観光物産フェアの開催
- (2) 土産品等の販路拡大・ブラッシュアップ支援
- (3) 茨城おみやげ大賞2019の商品募集【新規】
- (4) 県伝統工芸士の認定及び伝統工芸品展の開催



5 筑波山・霞ヶ浦広域エリアにおける観光連携の促進

- (1) 観光案内サインの整備に係る基礎調査【新規】
- (2) マルチアクセスマップの作成【新規】
- (3) 土産品・地元グルメの開発支援【新規】





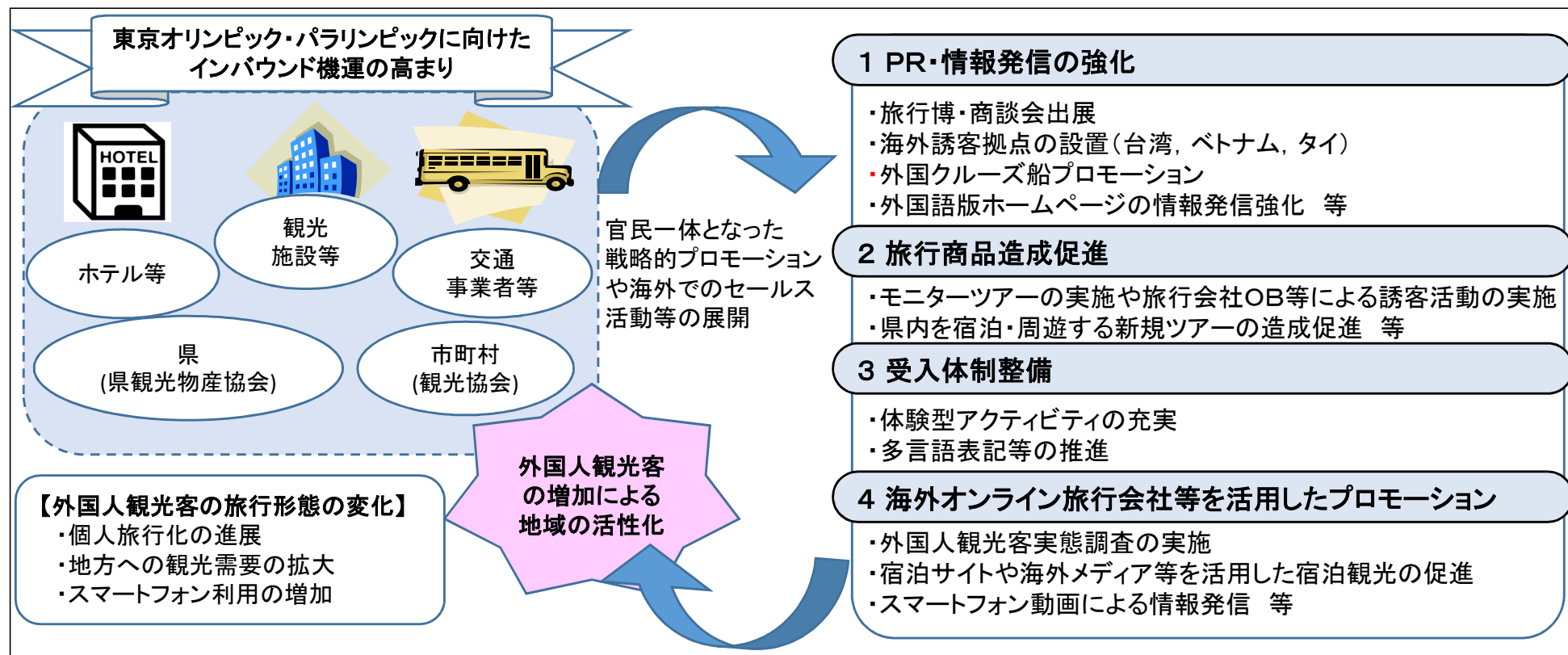
ビジット茨城・海外誘客プロモーション事業（新規）



【H30当初予算額 132,068千円】

営業戦略部国際観光課国際誘客G（029-301-3616）

2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向け、外国人観光客の一層の増加が見込まれることから、個人旅行化やネット利用の急速な進展等の旅行形態の変化を踏まえた誘客プロモーションを戦略的に展開し、海外からの誘客促進を図ります。





水郷筑波サイクリング環境整備事業



【H30当初予算額 78,492千円】

政策企画部地域振興課交流プロジェクト推進室 (029-301-2735)
土木部道路建設課県道G (029-301-4431)

「りんりんスクエア土浦」(H30年3月開業)を核とした情報発信や国内外のサイクリングイベントでのプロモーション等による誘客、県道区間の舗装リニューアルやビュースポットの整備など、ソフト・ハード両面からサイクリング環境の整備に取り組みます。

1 快適で安全安心にサイクリングができる環境の整備 (2,677千円)

- ・ 県道区間の舗装リニューアル【拡充】、ビュースポットの整備【新規】等 (土木部予算)
- ・ 自転車サポートステーション・優待サービス店の登録拡充

2 地域活性化につながるサイクリスト向けサービスの充実 (31,531千円)

- ・ りんりんスクエア土浦などによる情報発信【新規】
- ・ サイクリングガイド養成【拡充】
- ・ 周遊サイクリング推進のための遊覧船運行 (土浦市との連携)【新規】等

3 サイクリングを通じた文化の共有と発信 (33,320千円)

- ・ 国内外のサイクリングイベントなどでのプロモーション【拡充】
- ・ 地域振興につながるサイクリングイベント開催に向けた調査・検討等

4 官民が一体となった新たな推進体制の整備等 (10,964千円)

- ・ 情報発信や誘客促進等を図るための新たな協議会組織の設立【新規】
- ・ つくば霞ヶ浦りんりんロードの利用者動向等調査の実施等

【全国初・駅直結サイクリング拠点
「りんりんスクエア土浦」1Fイメージ】



○主な機能

【1F】(面積581.3㎡)

- ・ サイクルショップ、レンタサイクル
- ・ 情報発信コーナー、コミュニティゾーン
- ・ 組立・メンテナンス・洗車サービスコーナー

【B1F】(面積377.8㎡)

- ・ シャワー、ロッカー、更衣室
- ・ レンタサイクル保管スペース



空港就航対策利用促進事業／空港周辺環境整備事業



【H30当初予算額 759,335千円】

政策企画部交通局空港対策課企画調整G (029-301-2768)

外国人旅行者の訪日需要拡大を契機として、チャーター便誘致や、二次交通の充実に取り組み、早期の定期便化を目指すとともに、無料となっている空港駐車場の拡充により、利用者増への対応を図ります。

1 就航対策 (505,881千円)

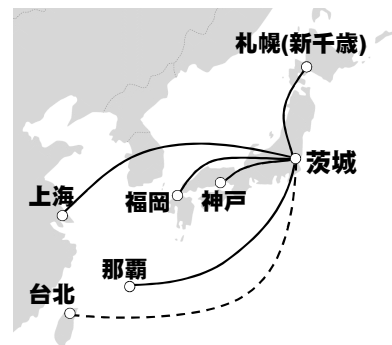
①運航コスト低減のための支援【新規】

- 国の訪日誘客支援制度を活用した着陸料支援、グランドハンドリング支援
- 送客実績に基づく「LCC等就航奨励金」の創設

②チャーター便誘致のための支援【拡充】

- 台湾、香港等からのチャーター便誘致

③航空会社と一体となったプロモーション等



2 利用促進 (185,806千円)

①宇都宮駅とを結ぶバスの実証運行【新規】

- 就航先からのインバウンド、栃木県等からのアウトバウンド需要の取込

②1,000円レンタカーキャンペーンの充実【拡充】

- 10月末までの期間、空港利用の外国人観光客向けに48時間2,000円キャンペーンを展開

③閑散期対策【新規】

- 札幌からのゴルフツアー造成支援等

3 臨時駐車場の拡充 (30,478千円)

(空港周辺環境整備事業 (67,648千円) の内数)

- 繁忙期に対応した駐車台数の確保 (約500台)
※現状：約3,100台



県北地域活力創造プロジェクト事業（新規）



【H30当初予算額 65,000千円】

政策企画部県北振興局振興G（029-301-2725）

県北地域において、地域の創意と主体性に基づく取組を促進するため、市町が地域の特性や優位性を活かし、民間等と連携・協働して地域課題の解決や地域活性化を目的として取り組む事業を支援します。

<支援内容>

- ・ 補助対象：県北6市町（日立市，高萩市，北茨城市，常陸太田市，常陸大宮市，大子町）
- ・ 対象事業：地域「人財」（ヒト）や地域資源（モノ）など、市町の強み等を活かした魅力ある地域づくりのための次に掲げる各事業
 - ① 地域を支える人づくりを目的とする事業
 - ② 地域の産業振興又は雇用機会の創出を目的とする事業
 - ③ その他地域振興における重要な課題等の解決を目的とする事業※但し、生活環境の維持・確保に向けた事業（道路，交通インフラ，医療・福祉等），一過性のイベント開催を主たる目的とする事業は除く
- ・ 補助率：1/2
- ・ 補助期間：3年以内
- ・ 限度額：1市町あたり1,000万円





県北芸術村推進事業（新規）



【H30当初予算額 35,000千円】

政策企画部県北振興局企画G（029-301-2727）

アートを活用した継続的な交流環境づくりや地域主体のまちづくりのための事業にパイロット的に取り組み、地域に広く波及させることにより、将来的には、県北地域を「芸術村」に変えていきます。あわせて、県北地域の多様な地域資源を活用し、新たなアプローチで交流人口の創出を図ります。

○ アートを活用した地域主体のまちづくりの促進（25,000千円）

(1) 若手芸術家（地域おこし協力隊）の誘致

- ・活動期間 最長3年
- ・採用人数 2人程度
- ・活動内容 出張ワークショップの開催，地元アートイベントの支援，アートを活用した地域おこし団体等のネットワーク化・組織化など

(2) 芸術家の短期滞在による交流型アートプロジェクトの実施

- ・滞在期間 1か月程度
- ・招へい数 3人程度
- ・主な内容 住民参加型のワークショップの開催，アート作品の制作・展示など



○ 地域資源を活用した新たな交流人口の創出（10,000千円）

- ・地元市町や民間等と連携した地域活性化モデル事業の検討及び実証



東京オリンピック・パラリンピック推進事業



【H30当初予算額 58,043千円】

県民生活環境部オリンピック・パラリンピック課 (029-301-2790)

東京オリンピックサッカー競技について、東京2020組織委員会等の関係機関と協力し、着実に準備を進めるとともに、市町村や関係団体等と連携して事前キャンプ誘致を積極的に進めることにより、開催効果を県内に波及させます。

- 1 オリンピック・パラリンピック競技大会開催準備
 - ・「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会茨城県推進会議」の運営
 - ・機運醸成イベント（開催2年前イベント等）の開催
 - ・ボランティアの募集・セミナーの開催
 - ・聖火リレー実行委員会（仮称）の設置
- 2 キャンプ誘致の促進
 - ・市町村に対するキャンプ誘致補助
＜補助率＞県1/2，市町村1/2（上限100万円）
 - ・駐日大使館等に対するキャンプ実施の働きかけ
 - ・ホストタウン交流事業の実施
（参考）事前キャンプ誘致意向市町村数：27市町村
県内ホストタウン件数：8件



茨城カシマスタジアム



海外関係者による県内視察